

# 災害！そのときどうなるの??

問 防災課防災計画係 ☎(95)9874

## 今回のテーマ 地震でケガをしないために②

地震発生時にケガをしないために家具や家電の転倒防止が大事なのはよくわかりました。ほかにはどんなことに気をつけるとよいですか？



ガラスの飛散防止もお勧めです。市販のガラスの飛散防止用フィルムを窓ガラスに貼っておくと、ガラスが割れても破片が飛び散らずにすみます。寝る前にはカーテンを閉めておく習慣をつけておくのもいいですよ。ガラスが広範囲に飛び散るのを防ぐのに効果的です。



ガラスが割れて部屋中に散乱すると、動く際にケガをしてしまいますね。細かなガラスだと気が付かずに踏んでしまいそうです。



そうですね。窓ガラス以外に食器なども落ちて割れば、怪我をする原因になります。そうなったときに足元を守るために、厚手のスリッパや靴を寝室などに置いておくといいですね。ガラスで手を切ることがない防刃手袋も備えておくとケガをしないで済みます。



あとは、停電用に懐中電灯があるといいですよ。いつ地震が起きるかわからないし。



懐中電灯もいいですが、片手を使うことになります。災害時には両手を使う方がより安全でしょうから、ヘッドライトを備えておくと、両手を使えていいですよ。



## ここがポイント！

- ・地震や台風に合わせて、窓ガラスにガラス飛散防止フィルムを貼ると、室内にガラスが飛散するのを防ぐのに効果があります。
- ・室内でケガをしないように、身の周りに厚手のスリッパやシューズ、防刃手袋を備えておくことをおすすめします。防刃手袋とは、刃物やガラスなどから手を守る作業用手袋です。
- ・夜間の停電に合わせて、懐中電灯やヘッドライトなどを寝室などに備えておくことをおすすめします。
- ・停電を感知して自動で点灯するタイプの足元灯を廊下や各部屋に用意するとより安心です。

